

江戸橋キリスト教会ホームページ

☆ 初心者の方へ ☆

- * 江戸橋キリスト教会のホームページに訪れて下さってうれしく思います。人生について真剣に考えようと思われる人にとって、希望の光が見出せるよいチャンスになることを願っています。この機会に神様のことについて考えて見て下さい。
- * この世界には、目には見えませんが、真実な神様がおられ、あなたを愛し、あなたを導くために、神は教会（建物のことではなく、信じる人々の集まりのことです。）を建てられました。あなたの人生を考えるために必要な集まりとして置かれています。
- * 人生について、神様について話を聞いてみたいと思われる方は、気軽にお越し下さい。お越し頂くと、直接どんな疑問にもお答えできます。決して強制も何の要求も一切致しません。もちろん、こられることができない方も、メールでのみ問い合わせ頂いても結構です。

教会のメールアドレスは、kyoukai@na.commufa.jpです。

- * この教会は、聖書に忠実に従い、そこに示されている驚くべき福音（グッドニュース）を正しく伝えている所です。それ故、聖書からはずれた考え方をしている、エホバの証

人、モルモン教、統一教会などの偽キリスト教とは一切かわりありません。また、マリヤ崇拝をしているカトリック教会ともかわりありません。個人的に、聖書について、キリスト教について、人生のあらゆることについて聞いてみたい方は、気軽に、遠慮なくお申し出下さい。



- * 最近つくづく思われることですが、今の世界は、真実な喜びをもたらす言葉が失われた、さつぱつとした、真実な愛が感じられない世界になってしまっていると思われませんか。
- * そんな貧しい言葉、人を傷つける言葉がはんらんしている世にあって、あなたを正しく教え、正しく形造る力のある本物の言葉に出会うことが、あなたの人生を変えることができるのです。
- * なぜなら、言葉は力であり、言葉は喜びあるからです。私たちの人生を正しく導く指針です。もちろん薄っぺらな力のない言葉もあります。虚しい言葉も無数にあります。
- * それ以上に、人の心を冷やしてしまう言葉があり、心無い言葉、潤いが感じられない言葉が行き交っています。そんな世にあって、人は傷つき、心が冷やされ、愛を失い、心が渇き、互いにだまし合い、人を信じることすらできなくなっているのです。
- * しかし、人を裏切らない、真実な、力ある言葉があることをご存知でしょうか。それが聖書です。確かに古い書物です。書かれて約 2000 年以上も経っているのですが、それでいて決して過去の古びた内容なのではなく、今も全世

界の人々の心を捉えて離さない力を持っています。それは、永遠に変わることなく生きておられる神がお語りになったお言葉だからです。

- * 神の言葉である聖書には、そのような、人を生かす力ある言葉に満ちています。あなたを変え、あなたを形造り、あなたの冷やされた心、傷ついた心をいやし、力ある人生を送らせようとして語りかけられています。それは、あなたを神の御許に引き寄せ、神の愛に満ちたお心に触れることができるようにして下さるためであり、神の大きな守りの中で生きることが出来る幸いが分かるように導いて下さるためなのです。
- * なぜ、神のお言葉には、そのような人を生かす力があると言えるのでしょうか。それは、あなたを愛し、あなたを正しく導きたいと願っておられる本物の神がそこで語っておられるからです。このお言葉の素晴らしさを知りたいと願う方はぜひ教会に来て頂きたいのです。この命の御言葉について正しく教えてくれる教会が近くになれば、メールでも電話でも問い合わせして下さい。

キリスト教について学んでみたいあなたへ



キリスト教とはどのような宗教なのか、初心者の方にも理解できるように、分りやすく説明しますから、自分の人生にとって役に立つ大事なものか、そうでないかを考えてみて下さい。

一般にキリスト教とはこのようなものではないかと、あるイメージを抱いておられる方が多いのですが、ほとんどのイメージは間違ったイメージが作られています。キリスト教とはどのようなものか、そのことが正しく語られているのは聖書しかありません。これは、神が人を通して語られた神のお言葉として示されたものですから、その聖書がどのように教えているか、聖書が示しているキリスト教とはどのようなものか、分りやすく項目に分けて説明していくことにしましょう。

最初に問答形式で簡単に説明してから、その後で説明していくことにしましょう。①キリスト教について、②聖書について、③神について、④人間について、⑤罪からの救いについて、⑥神の子イエス・キリストについて、⑦聖霊なる神について、⑧教会について、⑨終末について、⑩クリスチャンの生き方についてなどを考えて見ることにしましょう。なるべく分りやすい言葉を使いますが、どうしてもキリスト教専門用語も出てきますので、その時は、()の中に説明文を入れることにします。

それではよく読んで考えてみて下さい。

第1回 キリスト教とは？

問1 キリスト教とはどのようなものですか。

答 キリスト教とは、キリストがこの私の人生において、どのような関わりがあるのかということを知る宗教です。

問2 それではキリストとは一体誰のことですか。

答 神の目から見て罪人になってしまった人間を、その罪から救うために、神が人間の世界に遣わそうと考えられ、約束されていた救い主（キリスト）のことです。神が遣わされるキリストとは、教祖のような形で遣わされる人間ではありません。このキリストは、神のご性質を持っておられる、人間の形を持ったお方です。このキリスト以外に私たちを救うことができる者は一人もいません。このキリストを正しく知ることによって、本当の神様に出会うことができるのです。

問3 それではキリストを知ろうと思えばどうすればいいのですか。

答 教会において語りかけられる聖書の解き明かし（今の時代に分かる言葉による説明）を聞くことにより、私たちに対する見えない神からの語りかけを聞くことができます。そこにおいてキリストを知り、信仰の思いが起こされるのです。

問4 神の語りかけは礼拝だけなのですか。

答 そうではありません。それ以外にも、教会において聖書の解き明かしがなされています。しかし礼拝は、同じ神様を信じる人たちが集まる中で、共に、聖書の解き明かしを受けていくことができるように、神が用意して下さ

った場なのです。

問5 礼拝で御言葉の解き明かしを聞いていれば、すべて分かるのですか。

答 神様は聖書を通して語りかけて下さっているから、聖書全体を把握し、理解する学びが必要です。皆さんがこれから、ここで学ぼうとしているのは、問答形式を用いながら、聖書全体を分かりやすく学ぶことです。この学びは神様の語りかけを聞くための準備だとも言えます。



☆ 解説 ☆

あなたは、キリスト教をどのようなものだと思っていますか。一般的にキリスト教とはどのようなものだとイメージされているかと言いますと、聖人君子の集まりで、禁欲主義に生きる堅物の人たちの集まりだというイメージを抱いている方が多いのです。それは、キリスト教が日本に入ってきた時、道徳的に立派になるように求められたからです。

よく玄関に、宗教はお断りという札を掲げている家があります。人間の弱い心につけ込んで、大切なものを巻き上げようとする宗教があられているからでしょう。それで、宗教全般がそのようなものだと思ってしまいやすいのです。キリスト教をそのような怪しげな宗教と一緒にしないで下さい。人は、ともすれば、人が何のために生きていくべきか、何を大事にして歩むべきか、考えなければならないことを封印して、目の前のことにあくせくして生きていく人生になりやすいのですが、それで

は、人としての生きる意味が分からないまま、ただより幸いに
思える生き方をしたいという人生になってしまって、心の奥深
くにある虚しさから解放されることはないのです。

それでは、キリスト教とはどのようなものでしょうか。それ
を一言で説明するのは非常に難しいことです。それをあえて一
言で言うとしみますと、キリスト教とはキリスト（救い主）が私
の人生にとってどのような関わりを持っておられるお方である
かを知ることでと言えるでしょう。すなわち、キリストは、私
のために何をして下さり、何をもたらして下さったのかを知り、
その愛に答えて生きていこうとすることがキリスト教なのです。

例えば、ある人が私を愛して、私のことを大事に思っていて下さ
っていることが分かった時、それが、自分の人生に何の益もな
いと思えば、うれしくも何ともないでしょう。しかし、それが
自分の人生において喜びと希望を見出すことだと思うことができ
るものであるなら、その人の愛に答えようとするはずです。

神は、私のことを愛して、私の人生を、人間として深い意味
のある人生を送らせてやりたいと考えて下さっていることが聖
書に記されています。神は、私たちがそのような意義深い人生
を生きていくようになるためにキリストを遣わして下さったと
記されている聖書の語りかけを聞く時、そのように用意されて
いる人生があるのなら、私も考えてみたいと思ったならば、今、
私を愛して下さっているとされている神に答えられることが、
与えられたチャンスを掴むことになります。

そして、神が与えようとして下さっている深い意味のある人
生を送っていきたいと思う時、キリスト教はあなたにとって、
あるいはあなたの人生にとって必要なものであることが分かる
のです。

それでは、私の人生に深い関わりがあると語っているそのキ

リストとは一体誰のことか、聖書を通して見てみることにしましょう。

聖書を理解するためには、いくつかの前提となる内容を理解しなければ受けとめることができないでしょう。それらの一つ一つをここで詳しく説明することは、話が進んでいかないですから、いずれ詳しく説明していきますが、ここでは簡単な説明だけで理解して頂くことにしましょう。

聖書には、神がおられ、人間を意味のある存在として造られたと記されています。すなわち神の前に生きる祝福された者として造られたのです。その人間が、神に背を向け、意味のある人生を送らせようとされた神様の思いをないがしろにし、神様の目から見て罪ある人間となりました。（聖書でいう罪とは、法律に触れる罪を犯すことではなく、自分を造られた神から心が離れることを指しています）それによって神様が祝福を与えようとされる人間ではなくなり、そのままでは滅びる運命になってしまったのです。

しかし神様は、人間に立ち返るチャンスを与えたいと願っておられたのですが、人間が犯した罪の罰を代わって受ける存在がいなくては、その罪を解決したことにはならないので、救い主を遣わして人間の代わりに罰を受け、それによって罪を赦し、神の御前に生きる機会をもう一度与えようと考えて下さったのです。これは、驚くべき深い知恵を持っておられる神様が考えて下さった、人間の罪を赦すための唯一の方法だったのです。その救い主がギリシヤ語でキリストと言います。イエス・キリストとは、決して名前と苗字のことではありません。お名前はイエスと言われ、このお方が救い主だと言う意味で、イエス・キリストと呼ばれているのです。

イエス様はユダヤ人としてお生まれになりました。神の子が

生まれるというのはおかしいことですが、神様はイエス・キリストを、神性を持ちながらも、見た目には人間と全く同じ人生を歩むようにされたのです。そこに深い理由があったからです。このイエス様が、30歳ごろに公の生涯に入られ、キリスト教の土台作りをするために12人の弟子たちを選ばれました。

そして弟子たちの信仰を教育しておられる中で、ある時イエス様は、「人々は私のことを誰と言っているか」と問われたことがありました。もちろん人々の評価を気にしておられたのではなく、そこから「それではあなたはわたしを誰と言うか」と問われ、弟子たちの思いを正しく導くために聞かれたのです。弟子たちはいつもイエス様の傍にいて、そのなされること、語られることをすべて見聞きしてきたのですが、それでも、イエス様のことがまだ十分に分かっていたとは言えなかったのです。

けれどもその時、弟子の一人であったペテロは、「あなたこそ、私にとって、今も生きて働いておられる神から遣わされた、神の子キリストです」と答えました。これは、神がペテロの心の中に働きかけられて言わせられたのです。イエス様はその答えを聞いて、それはあなたの心の中に、神様が思いを起こされたからそう告白できたのだと言って喜ばれました。この話は、マタイによる福音書（16：13～16）という中に書かれている記事です。

この時になされた問いかけは、今日の私たちにもなされていると言えます。あなたにとって私はなくてはならない存在なのか、それともいてもいなくてもいい存在なのか。私たちの人生が、神様の祝福を頂いた人生として生きるためには、キリスト抜きでは考えられないというのが、聖書の主張です。あなたがキリストのことを、私の人生に深くかかわっているお方として受けとめたなら、あなたは、その思いが神さまによって与えら

れた思いだと知って頂きたいのです。

このお方は、天才人間の一人として、その才覚を持って、優れた宗教を立ち上げられた凄腕の教祖なのではありません。このお方は神のご性質を持っておられるただひとりのお方なのです。それ故、神の子と呼ばれています。このキリストが私たちに代わって、人間の犯した罪の罰を受けて下さることによって、人間の罪を解決して下さることが、神様のお考えによってなされたご計画だったのです。それ故、人間は、このキリストを正しく知ることによって罪の解決を頂き、本当の神様に会い、神の御前に生きる祝福された人生を送ることができるようになるのです。

キリストは、私たち人間が、こんな神がいて下さったらと強い願望を持って作り上げた願望の投影ではありません。そんなものに何の力もありません。そのような神は、自分にとってご利益となることを第1に置いたものであって、聖書が語る信仰とはまったく別のものです。

それでは、どのようにすればキリストを知ることができるのでしょうか。今では神もキリストも目で見ることができる存在ではありませんから、神様のお心が記されている聖書を通してしか知ることができません。それがキリストを知る方法として神が与えて下さった唯一の方法なのです。

私は、今これを読んでおられるあなたにぜひキリストを知って頂きたいと願っています。しかし、聖書は一番新しいものでも、今から約2千年も前に書かれた書物ですから、語られた時の背景も、人々の理解力も、考え方も異なっていますので、簡単には分かりません。

それ故、教会において、特に礼拝において、その聖書の解き明かし（メッセージと言います）がなされ、今の時代に生きる

私たちが理解できるように説明がなされています。それは単なる学問としてではなく、そこにおいて見えない神様が語って下さっているのを体験することができるようにされるのです。その中でキリストを知っていき、私たちの内側に信仰の思いが起こされていくのです。

私たちが自分で決心して信じるというのではなく、神様が心の中に働きかけて下さり、信じて生きていきたいと思わせて下さり、キリストを信じることによって、自分の人生がいかに神様の守りと、導きと、助けとを頂いた素晴らしい人生にされているかを実感していくようにされるのです。

神様の語りかけは、教会の礼拝においてだけしかなされないのかと言いますと、そうではありません。礼拝以外にも聖書の解き明かしがなされています。初心者の方のためにも分かりやすく聖書が解き明かされています。

けれども特に礼拝において、そこでは解き明かしだけではなく、同じ神様を信じる人たちが集まり、神様との深い交わりを持つことができるよい機会として与えられているのです。その中で聖書の解き明かしを聞き、神様の導きを頂いて向かうようにされています。

それでは、礼拝で聖書の解き明かしを聞いていればキリスト教についてすべて分かるのかと言いますと、そういうわけではありません。やはり聖書全体を通して神様のお心を知っていく必要があるのです。それでは自分で聖書をよく読めば分かるかと言いますと、聖書の内容は解説を聞かなければ分からないでしょう。そのために教会があり、解き明かす者（牧師、あるいは説教者と言います）がいるのです。解き明かす者は、自分の考え方や研究を発表しているわけではありません。聖書を今の時代に分かるように解説するだけです。言うならば、通訳者のよ

うなものです。通訳は、自分の考えを述べるのではなく、語った人の言葉を、できる限り正確に訳して伝えるのが務めです。

直接解き明かしを聞くことができない人のために、ここで学んで頂こうとしているのが、このホームページの主旨です。それ故、これから学ぼうとしているのは、分かりやすくするために、まず問答形式を用い、その言おうとしているポイントを受けとめてもらい、そして解説部分において、もう少し詳しく学んで頂こうと考えています。これから回を重ねていくに従って、聖書全体を学んで頂くことができます。もちろん、それはあくまでも全体の輪郭の学びですから、それを基にして、そこから更に深く学んで行くことができるのです。

この学びが目標としているのは、この学びを通して、神様からの語りかけを聞いて頂きたいことです。もちろん聞くとと言っても体の耳によってではなく、心で（聖書ではそれを霊という方が正しいのです）聞き取って頂くようになることです。そうすればあなたは、自分の人生が神様の祝福を頂いて歩むことができるようにされている素晴らしい人生であることを知って、たとえ目に見えない神様であっても、いつも一緒にいて下さることが分かって、喜びにあふれることができるでしょう。ぜひそれを経験して下さい。